

2 火災の概要

(1) 概 要

平成30年中における火災の概況は、出火件数725件、これらの火災による被害は、損害額16億5,429万5千円、死者24人、負傷者96人、焼損棟数547棟、建物焼損床面積21,299㎡、同表面積2,059㎡、林野焼損面積175a、り災世帯数264世帯、り災人員618人となっている。(表2-1)

○ 表2-1 平成30年中の火災の概況

区 分		平成30年	平成29年	増減数	増減率	
		(A)	(B)	(C)=A-B	(C/B*100)	
出火件数	建物火災	336件	337件	△1件	△0.3%	
	林野火災	33件	27件	6件	22.2%	
	車両火災	56件	81件	△25件	△30.9%	
	船舶火災	0件	0件	0件	0.0%	
	その他火災	300件	222件	78件	35.1%	
	計	725件	667件	58件	8.7%	
焼損棟数	全 焼	178棟	108棟	70棟	64.8%	
	半 焼	34棟	30棟	4棟	13.3%	
	部 分 焼	154棟	112棟	42棟	37.5%	
	ぼ や	181棟	203棟	△22棟	△10.8%	
	計	547棟	453棟	94棟	20.8%	
焼損面積	建物	床面積	21,299㎡	15,397㎡	5,902㎡	38.3%
		表面積	2,059㎡	2,764㎡	△705㎡	△25.5%
	林 野	175a	308a	△133a	△43.2%	
死 者		24人	20人	4人	20.0%	
負 傷 者		96人	95人	1人	1.1%	
り災世帯	全 損	80世帯	55世帯	25世帯	45.5%	
	小 半 損	184世帯	181世帯	3世帯	1.7%	
	計	264世帯	236世帯	28世帯	11.9%	
り 災 人 員		618人	595人	23人	3.9%	
火災損害額	建物火災	建 物	839,499千円	627,836千円	211,663千円	33.7%
		収容物	761,767千円	381,739千円	380,028千円	99.6%
		計	1,601,266千円	1,009,575千円	591,691千円	58.6%
	林野火災	394千円	73千円	321千円	439.7%	
	車両火災	33,772千円	29,981千円	3,791千円	12.6%	
	船舶火災	0千円	0千円	0千円	0%	
	その他火災	18,863千円	9,474千円	9,389千円	99.1%	
	爆 発	0千円	702千円	△702千円	皆減	
合 計		1,654,295千円	1,049,805千円	604,490千円	57.6%	
出火率 (人口1万人あたりの出火件数)		3.63件	3.23件			

出火件数を前年と比べると、総出火件数が 58 件 (8.7%) の増加となっており、火災種別ごとに見ると、林野火災が 6 件 (22.2%) 及びその他火災が 78 件 (35.1%) の増加、建物火災が 1 件 ($\Delta 0.3\%$) 及び車両火災が 25 件 ($\Delta 30.9\%$) 減少した。船舶火災は 0 件で増減なし。

損害額を前年と比べると、総額が 6 億 449 万円 (57.6%) 増加している。火災種別ごとに見ると、建物火災が 5 億 9,169 万 1 千円 (58.6%)、林野火災が 32 万 1 千円 (439.7%)、車両火災が 379 万 1 千円 (12.6%)、その他火災が 938 万 9 千円 (99.1%) の増加、爆発が 70 万 2 千円 (皆減) 減少した。

次に、平成 30 年中の火災を 1 日あたりで見ると、出火件数 2.0 件、損害額 453 万 2 千円、建物焼損棟数 1.5 棟、建物焼損床面積 58.4 m^2 、建物焼損表面積 5.6 m^2 、林野火災面積 0.5a となっている。(表 2-2)

○ 表 2-2 1 日あたりの火災による損害

区 分	単 位	平成 30 年 (A)	平成 29 年 (B)	増減数 (A - B)
出 火 件 数	件	2.0	1.8	0.1
損 害 額	千円	4,532.3	2,876.2	1656.1
建物焼損棟数	棟	1.5	1.2	0.3
建物焼損床面積	m^2	58.4	42.1	16.3
建物焼損表面積	m^2	5.6	7.6	$\Delta 2.0$
林野焼損面積	a	0.5	0.8	$\Delta 0.3$

(2) 出火件数

ア 火災種別出火件数

出火件数を火災種別ごとで見ると、建物火災は構成比 46.3% で最も高い比率を占めており、次いでその他の火災 (堤防・河川敷・空き地等の枯れ草等の火災)、車両火災、林野火災 (原野・牧野・天然林・人工林の火災) の順となっている。

前年構成比と比べると、林野火災、その他火災が増加し、建物火災、車両火災が減少した。(表 2-3)

○ 表 2-3 火災種別出火件数の構成比

	平成 30 年		平成 29 年	
	出火件数 (件)	構成比 (%)	出火件数 (件)	構成比 (%)
建 物 火 災	336	46.3	337	50.5
林 野 火 災	33	4.6	27	4.0
車 両 火 災	56	7.7	81	12.1
船 舶 火 災	0	0	0	0
その他の火災	300	41.4	222	33.3
計	725	100	667	100

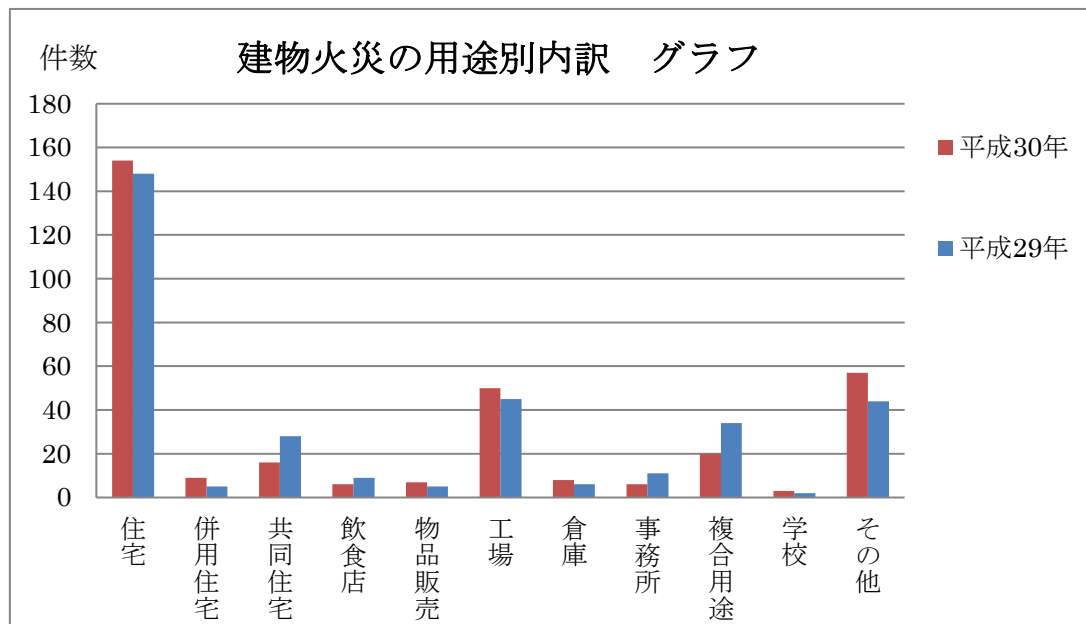
イ 建物火災の用途別内訳

建物火災の出火件数を建物の用途別で見ると、住宅が154件（45.7%）、併用住宅が9件（2.7%）、共同住宅が16件（4.8%）発生しており、これらを合わせると53.2%となり、建物火災全体の約半数を占めている。件数順では次いで工場、複合用途（一つの事務所で2種以上の異なった事業を兼ねて行っている等）の順となっている。

（表2-4）

○ 表2-4 建物火災の用途別内訳 【単位：件・%】

区分		住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	物品販売	工場	倉庫	事務所	複合用途	学校	その他	合計
平成30年	件数	154	9	16	6	7	50	8	6	20	3	57	336
	構成比	45.7	2.7	4.8	1.8	2.1	14.9	2.4	1.8	6.0	0.9	16.9	100
平成29年	件数	148	5	28	9	5	45	6	11	34	2	44	337
	構成比	43.9	1.5	8.3	2.7	1.5	13.4	1.8	3.3	10.1	0.6	13.1	100



ウ 季節別出火件数

出火数を季節別にみると、1月～3月が226件（31.1%）と最も多く発生しており、次いで7月～9月186件（25.7%）、4月～6月178件（24.6%）、10月～12月135件（18.6%）の順となっている。

前年に比べると、4～6月及び10月～12月の比率は減少しているが、1月～3月、7月～9月の比率は増加している。（表2-5）

○ 表2-5 季節別出火状況

区分		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計
平成30年	出火件数 (件)	226	178	186	135	725
	構成比 (%)	31.1	24.6	25.7	18.6	100
平成29年	出火件数 (件)	208	195	126	138	667
	構成比 (%)	31.2	29.2	18.9	20.7	100

(3) 出火原因

出火件数を出火原因別に見ると、たき火による火災が79件(10.9%)で1位となっている。続いて、火入れ57件(7.9%)、たばこ47件(6.5%)、電灯電話等の配線37件(5.1%)、こんろ36件(5.0%)、の順となっている。

昨年と比べると、主に火入れが18件(11.4%)、電灯電話等の配線が22件(146.7%)、マッチ・ライターが5件(25.0%)、焼却炉が4件(44.4%)増加している。(表2-6)

○ 表2-6 出火原因別の出火件数と出火原因比率

【単位：件・%】

	平成30年(A)			平成29年(B)			増減	増減率
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比	(C)	(C/B) *100
							A-B	
たき火	1	79	10.9	1	80	12.1	△1	△1.3
火入れ	2	57	7.9	4	39	5.8	18	46.2
たばこ	3	47	6.5	2	51	7.6	△4	△7.8
電灯電話配線	4	37	5.1	8	15	2.2	22	146.7
こんろ	5	36	5.0	3	44	6.6	△8	△18.2
放火	6	27	3.7	6	30	4.5	△3	△10.0
放火の疑い	7	26	3.6	5	37	5.5	△11	△29.7
ストーブ	8	25	3.4	7	20	3.0	5	25.0
配線器具	9	17	2.3	9	14	2.1	3	21.4
マッチ・ライター	10	15	2.1	10	9	1.3	6	66.7
焼却炉	11	13	1.8	10	9	1.3	4	44.4
その他		252	34.7		241	36.2	11	4.6
不明(調査中を含む)		94	13.0		78	11.8	16	20.5
計		725	100		667	100	58	8.7

(4) 損害額

平成30年中の火災による損害額は、16億5,429万5千円で、前年に比べ6億449万円増加している。

火災種別ごとの損害額は、建物火災によるものがほとんどで全体の96.8%を占めている。次いで、車両火災(2.1%)、その他火災(1.1%)の順となっている。

火災種別ごとに1件あたりの損害額を前年と比べると、建物火災が176万9千円、林野火災が9千円、車両火災が23万3千円、その他火災が2万増加し、爆発が35万1千円減少している。(表2-7)

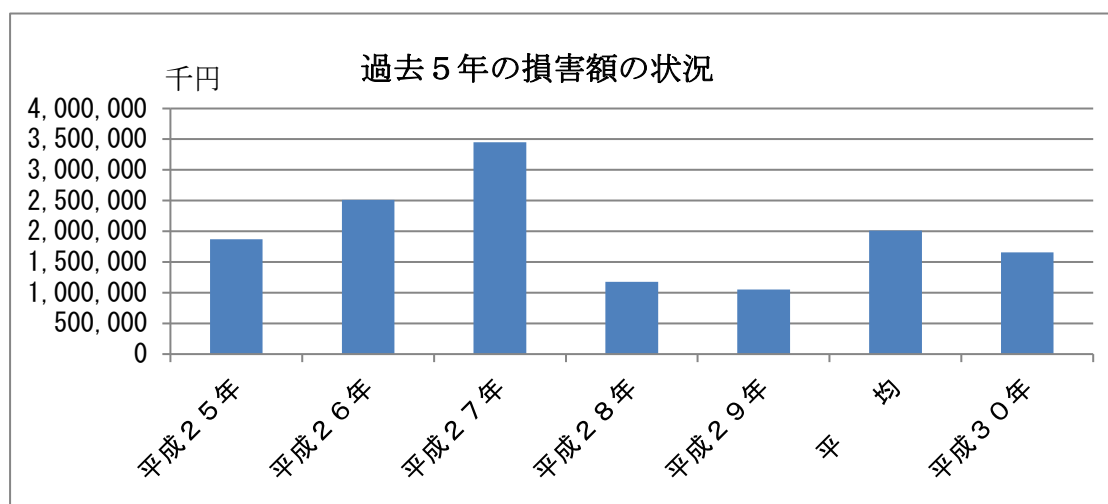
○ 表2-7 火災種別損害額【単位：千円・%】

	平成30年			平成29年			増減	
	損害額	1件あたり損害額	構成比	損害額	1件あたり損害額	構成比	1件あたり損害額	率
建物火災	1,601,266	4,765	96.8	1,009,575	2,996	96.2	1,769	59.0
林野火災	394	12	0.0	73	3	0.0	9	300.0
車両火災	33,772	603	2.1	29,981	370	2.9	233	63.0
その他火災(船舶火災含む)	18,863	63	1.1	9,474	43	0.9	20	46.5
爆発	0	0	0.0	702	351	0.1	△351	皆減
計	1,654,295	5,443	100	1,049,805	3,763	100	1,680	44.6

次に、平成 30 年中の火災による損害額を過去 5 年間の平均損害額と比べるとすべての区分で平均を下回っている。(表 2-8)

○ 表 2-8 過去 5 年間の損害額の状況【単位：千円】

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災 (船舶火災含む)	爆発	総額
平成25年	1,785,498	6,646	56,921	20,527	176	1,869,768
平成26年	2,401,464	636	72,389	34,890	2,334	2,511,713
平成27年	3,372,573	92	41,996	36,238	259	3,451,158
平成28年	1,111,480	143	42,943	21,560	181	1,176,307
平成29年	1,009,575	73	29,981	9,474	702	1,049,805
平均	1,936,118	1,518	48,846	24,538	730	2,011,750
平成 30 年	1,601,266	394	33,772	18,863	0	1,654,295



(5) 火災による死者及び負傷者

ア 火災種別ごとの死者数

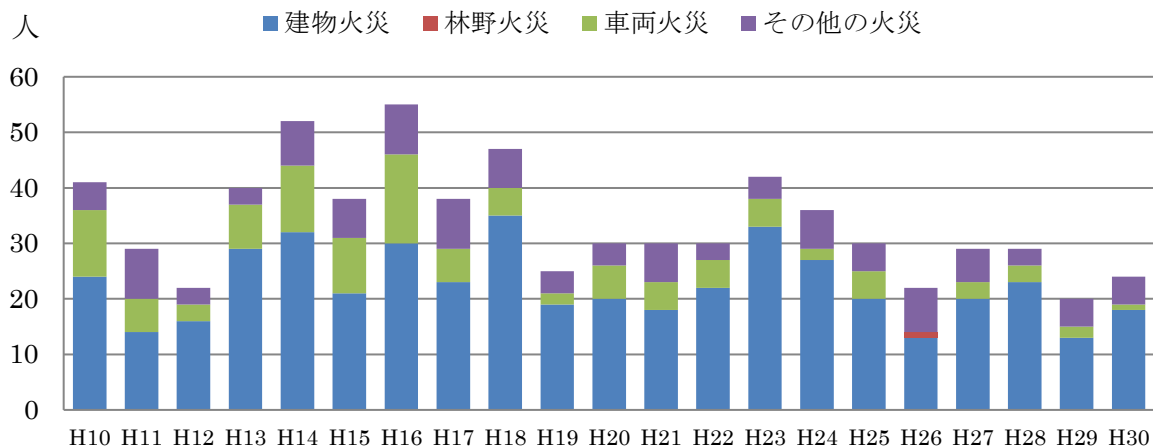
平成 30 年中の火災による死者数は 24 人で、前年より 4 人 (20.0%) 増加している。火災種別ごとの死者数は、建物火災によるものが 18 人で、死者総数の 75.0% を占めている。次いでその他火災 5 人 (21.0%)、車両火災 1 人 (4.2%) の順となっている。

過去 20 年の平均と比べると、すべての区分で平均を下回った。(表 2-9)

○ 表 2-9 火災種別ごとの死者数

区 分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
建物火災	24	14	16	29	32	21	30	23	35	19	20
林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両火災	12	6	3	8	12	10	16	6	5	2	6
その他の火災 (船舶火災含む)	5	9	3	3	8	7	9	9	7	4	4
計	41	29	22	40	52	38	55	38	47	25	30
区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	平均	H30
建物火災	18	22	33	27	20	13	20	23	13	22.6	18
林野火災	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.1	0
車両火災	5	5	5	2	5	0	3	3	2	5.8	1
その他の火災 (船舶火災含む)	7	3	4	7	5	8	6	3	5	5.8	5
計	30	30	42	36	30	22	29	29	20	34.3	24

火災種別ごとの死者数



イ 火災種別ごとの負傷者

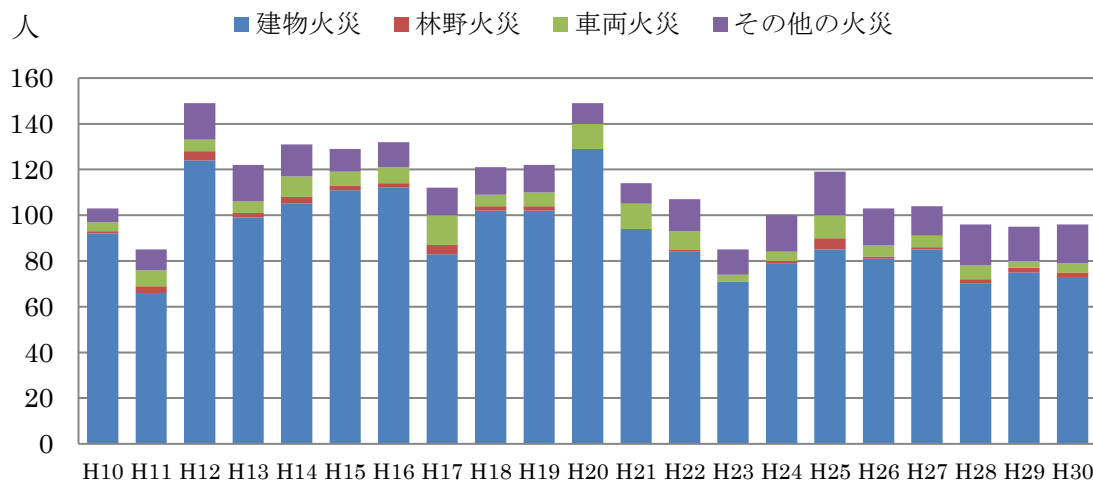
平成 30 年中の火災による負傷者は 96 人で前年に比べ 1 人 (1.0%) 増加している。火災種別ごとの負傷者は、建物火災によるものが 73 人で、負傷者総数の 76.0% を占めている。次いでその他火災 17 人 (17.7%)、車両火災 4 人 (4.2%)、林野火災 2 人 (2.1%) の順となっている。

過去 20 年間の平均と比べると、その他火災が平均を上回った。(表 2-10)

○ 表 2-10 火災種別ごとの負傷者

区 分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
建 物 火 災	92	66	124	99	105	111	112	83	102	102	129
林 野 火 災	1	3	4	2	3	2	2	4	2	2	0
車 両 火 災	4	7	5	5	9	6	7	13	5	5	11
その他の火災 (船舶火災含む)	6	9	16	16	14	10	11	12	12	12	9
計	103	85	149	122	131	129	132	112	121	121	149
区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	平均	H30
建 物 火 災	94	84	71	79	85	81	85	70	75	94.4	73
林 野 火 災	0	1	0	1	5	1	1	2	2	2.5	2
車 両 火 災	11	8	3	4	10	5	5	6	3	6.8	4
その他の火災 (船舶火災含む)	9	14	11	16	19	16	13	18	15	12.8	17
計	114	107	85	100	119	103	104	96	95	116.4	96

火災種別ごとの負傷者



ウ 火災による死者の生じた原因

死者の生じた原因は放火自殺7人(29.1%)、逃げ遅れ6人(25.0%)、着衣着火2人(8.3%)の順となっている。(表2-11)

○ 表2-11 火災による死者の生じた原因【単位：人・%】

区 分	25年	26年	27年	28年	29年	平均	30年	構成比
逃 げ 遅 れ	12	7	8	10	4	7.8	6	25.0
出火後再進入	1	0	0	1	1	0.6	0	0.0
着 衣 着 火	0	2	4	1	4	2.2	2	8.3
放 火 自 殺	7	6	7	7	5	6.4	7	29.1
その他(不明・調査中)	10	7	10	10	6	8.6	9	37.6
計	30	22	29	29	20	26.0	24	100.0

エ 年齢別の死者数

年齢別の火災による死者は、65歳以上が19人(79.2%)と多く、次いで6歳から64歳が5人(20.8%)の順となっている。(表2-12)

○ 表2-12 年齢別の死者数【単位：人・%】

区 分	25年	26年	27年	28年	29年	平均	30年	構成比
0歳～5歳	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
6歳～64歳	14	7	12	11	4	9.6	5	20.8
65歳以上	16	15	17	18	16	16.4	19	79.2
不 明	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
計	30	22	29	29	20	26.0	24	100.0

オ 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

死者の生じた原因と死者の年齢別の関係を見ると、その他(不明・調査中)を除き6歳から64歳は放火自殺が、65歳以上は逃げ遅れが最も多くなっている。(表2-13)

○ 表2-13 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係【単位：人】

区 分	0歳～5歳	6歳～64歳	65歳以上	不 明	計
逃 げ 遅 れ	0	1	5	0	6
出火後再進入	0	0	0	0	0
着 衣 着 火	0	0	2	0	2
放 火 自 殺	0	3	4	0	7
その他(不明・調査中)	0	1	8	0	9
計	0	5	19	0	24

カ 死因別の状況

死因別の火災による死者数は、一酸化炭素中毒・窒息4人(16.7%)、火傷10人(41.6%)、自殺7人(29.2%)、その他3人(12.5%)となっている。(表2-14)

○ 表2-14 死因別の状況【単位：人・%】

区 分	25年	26年	27年	28年	29年	平均	30年	構成比
一酸化炭素中毒・窒息	7	5	6	11	2	6.2	4	16.7
火 傷	7	7	11	7	6	7.6	10	41.6
骨折・打撲等	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
自 殺	7	6	7	7	5	6.4	7	29.2
そ の 他	1	1	2	1	2	1.4	3	12.5
不 明	8	3	3	3	5	4.4	0	0.0
計	30	22	29	29	20	26.0	24	100.0

キ 死者の男女別の状況

男女の火災による死者数は、男性9人(37.5%)、女性15人(62.5%)となっている。(表2-15)

○ 表2-15 火災による男女別状況【単位：人・() 構成比%】

区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年
男性	19(63.3)	13(59.1)	19(65.5)	20(69.0)	15(75.0)	9(37.5)
女性	11(36.7)	9(40.9)	10(34.5)	9(31.0)	5(25.0)	15(62.5)
計	30	22	29	29	20	24

(6) 過去20年間の火災種別出火件数の推移

平成30年の出火件数は725件で、過去20年間の平均出火件数909件と比較すると、184件少なくなっている。

火災種別ごとに見ると、建物火災336件、林野火災33件、車両火災56件及びその他の火災300件となっている。(表2-16)

○ 表2-16 過去20年間の火災種別出火件数の推移と平均

区分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
建物火災	532	496	539	555	560	529	539	524	488	529	494
林野火災	49	67	46	63	49	27	48	46	30	49	34
車両火災	161	144	144	167	146	151	151	133	134	112	125
船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の火災	244	239	295	375	357	235	314	266	337	332	299
計	986	946	1,024	1,160	1,112	942	1,052	969	989	1,022	952
区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	平均	H30
建物火災	443	417	418	398	427	407	358	333	337	460	336
林野火災	54	35	34	21	49	33	17	21	27	40	33
車両火災	119	95	90	81	84	77	69	78	81	114	56
船舶火災	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
その他の火災	329	255	299	257	403	351	230	254	222	295	300
計	945	802	842	757	963	869	674	686	667	909	725

